

<司令官ケネス・メイナー大佐の2021年3月7日のビデオメッセージ（要約）>

祭壇についてずっと学んで来ましたが、神様があなたに語りかけくださる場所は、どこでも、特別な聖なる場所となります。クリスチャンである私たちは、世界のどこへ行こうとも、神が共にいてくださることを経験します。神は常に共にいてくださる神なのです。そして、私たちは自分の心の中に祭壇を築き、神への愛と礼拝をささげることができるのです。詩編119:45に「広々としたところを歩き来させてください。あなたの命令を尋ね求めています」とあります。自由というのは尊いものですね。このコロナ禍にあっては特に自由がありがたく感じられます。飛行機の国際線に乗るにはウイルス検査を受けなければなりませんし、ロックダウンが実施されて、家から出られない国もあります。日本では早朝と夜に自由に散歩が出来ることは本当に感謝です。しかし世界を見る時に、家から一步も出られない人たちがたくさんいるのは事実です。コロナだけではありません。政情不安で外出できない国もあります。私たちは生き生きとした心を保つには、主の御命令に自分を委ねて行く必要があります。そうするならば心に自由を経験することができるのです。私たちは物理的に見たり触ったりできる祭壇を作る必要はありません。自分の心の中に祭壇を築くならば、私たちはどんな場所、どんな境遇にあっても、自由に神を礼拝することができるのです。「真理はあなたがたを自由にする」というイエスの言葉は、クリスチャンではない人にも、よく引用されます。しかし、真理であればどんな真理でもよい、ということではありません。私たちを本当に自由にしてくれる真理とは、イエスを通して示された神の御命令に従うことなのです。命令に従うなんてまっぴらだ、ボスなんか持ちたくない、という人も多いことでしょう。しかし、ボスがいなくても、自分の人生がアルコールやドラッグや様々な問題に支配され、あるいは、怒りや憎しみや復讐心に支配されて自由を失っている人がいます。神様が私たちに望んでおられる人生は、そのようなものではありません。私たちが心の焦点を神に向け、神の御言葉を求め、従って行くとき、私たちは変えられて、自由を経験することができるのです。ぜひ神様に祈り求め、神のもとでのみ与えられる自由を経験していただきたいのです。